

議 会 だ よ り 第 107 号

群馬県昭和村議会

令和4年10月15日 9月定例会

Contents

2～6 9月定例会

7～9 全協・各常任委員会

10～11 視察・調査・トピックス

12～16 村の姿勢を問う

18～19 みんなの声

委員会設置

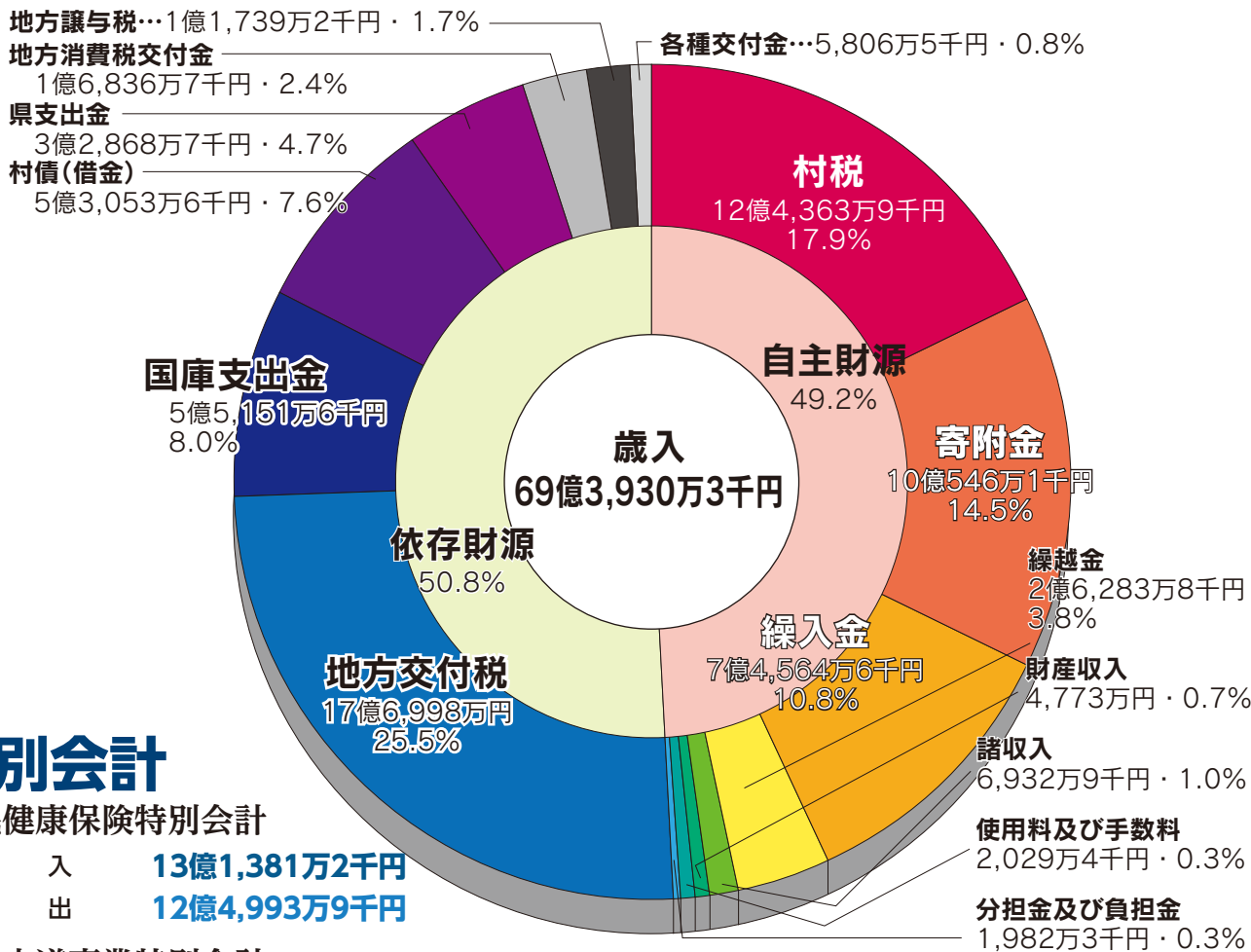
9月7日、8日、13日の3日間で審査を行いました。

一般会計

69億3,930万3千円

(前年度比0.7%増)

歳入



特別会計

国民健康保険特別会計

歳入 **13億1,381万2千円**
歳出 **12億4,993万9千円**

簡易水道事業特別会計

歳入 **3億997万円**
歳出 **2億8,992万2千円**

農業集落排水事業特別会計

歳入 **4億3,418万4千円**
歳出 **4億2,145万6千円**

介護保険特別会計

歳入 **8億6,676万円**
歳出 **7億8,351万9千円**

後期高齢者医療特別会計

歳入 **8,721万1千円**
歳出 **8,625万5千円**

財政運営の状況

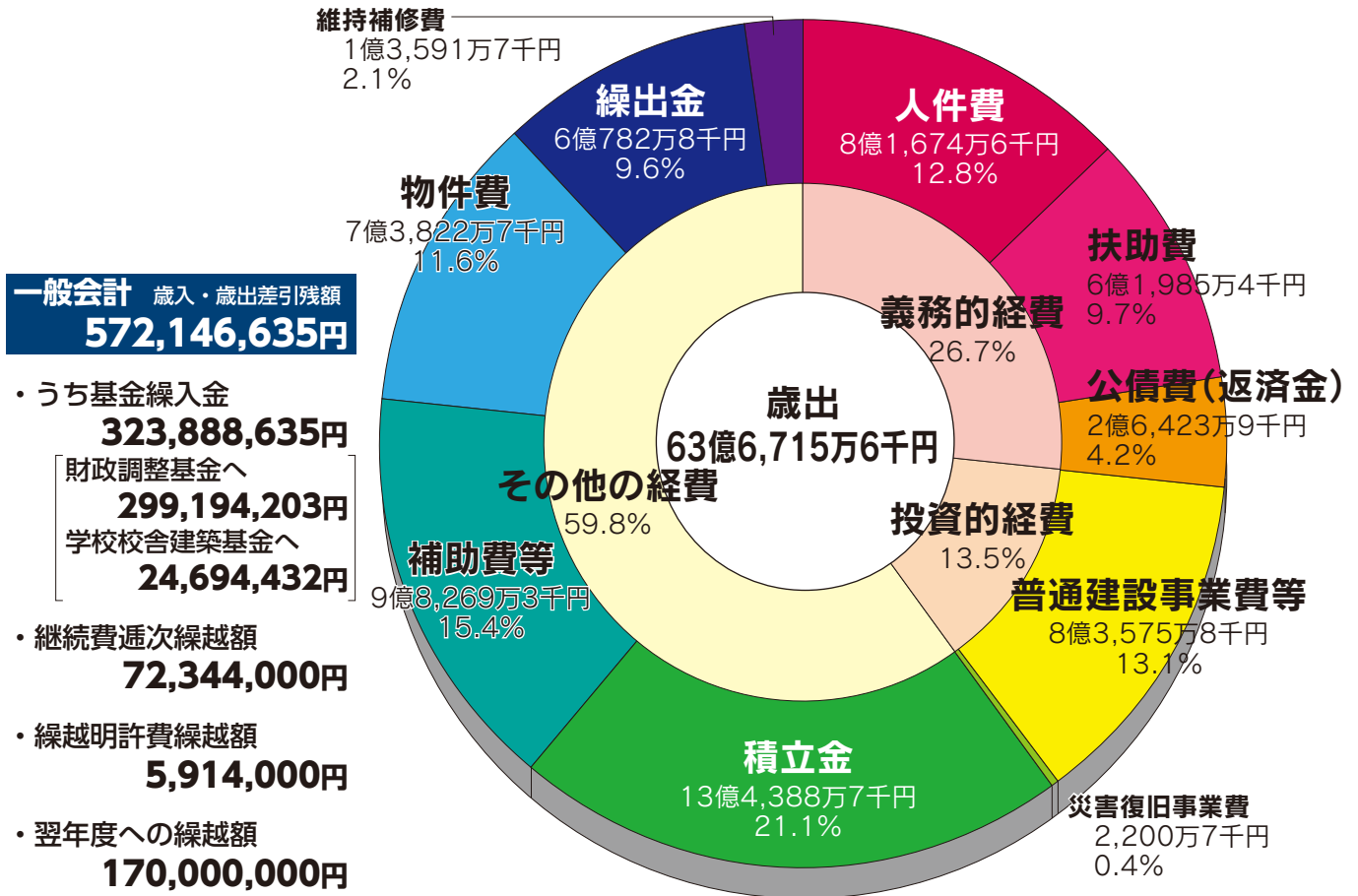
	元年度	2年度	3年度
財政力指数 地方公共団体の財政力の強弱を示す指数。1に近い(あるいは1を超える)ほど財政に余裕があるとされる。	0.460	0.468	0.445
経常収支比率 経常的な一般財源がどの程度経常的な経費に充てられているかを示す指数。数値が高いほど財政が硬直化し、70%~80%の範囲が望ましいとされている。	87.9%	83.5%	76.1%
公債費比率 一般財源の標準的な規模に占める公債費の比率。公債費は義務的経費であり、10%を超えないことが望ましいとされている。	2.9%	2.5%	1.5%
実質公債費比率 一般財源の標準的な規模に占める公債費のほか、公営企業会計や一部事務組合が負担する公債費、債務負担行為などを加味した比率。	6.0%	5.8%	5.1%

決算

決算審査特別

歳出

一般会計 **63億6,715万6千円**
(前年度比0.2%増)



一般会計 歳入・歳出差引残額
572,146,635円

- ・うち基金繰入金 **323,888,635円**
 財政調整基金へ **299,194,203円**
 学校校舎建築基金へ **24,694,432円**
- ・継続費通次繰越額 **72,344,000円**
- ・繰越明許費繰越額 **5,914,000円**
- ・翌年度への繰越額 **170,000,000円**

決算審査行われる

8月16日、17日、19日

審査結果の統括的意見

代表監査委員 **金井 正夫氏**
 監査委員 **永井 一行氏**

令和3年度昭和村一般会計および各特別会計歳入・歳出決算書ならびに同事項別明細書等は、ともに関係法令に準拠し、かつ前会計年度と同一の基準に従って継続して作成されており、計数も関係書類と符号し、正確であると認められた。また予算執行状況については、おおむね適正であると認められた。

村づくりの拠点となる役場新庁舎も令和5年1月末の完成に向け順調に進んでいると報告を受けた。本村のふるさと納税については、昨年を上回る10億円を超える寄附をいただいております。感謝するとともに、村の活性化のために活用していただきたい。

また、できるだけ確実な中期財政見通しのもと、歳入面では自主財源である村税や国保税、ならびに使用料など収納率の向上に努めるとともに、寄付金や有効な補助金等の活用を図り、より一層の村民サービス向上を図るよう要望する。



3日間にわたり行われた決算審査

9月定例会

今定例会は9月6日から15日までの10日間の会期で開催されました。議案6件、承認1件、認定6件、報告2件、発議1件の計16件が提出され、いずれも原案のとおり可決しました。

庁舎電気機械設備工事変更契約

条例改正

昭和村職員の育児休業等に関する条例の一部改正

村職員の育児休業等の取得要件を緩和など

- ・出生8週間以内の育児休業取得回数を1回から2回までとする分割取得を可能とした。
- ・男性の育児休業(産後パパ育児)も同様とした。
- ・非常勤職員の育児休業も緩和

補正予算

令和4年度昭和村一般会計補正予算(第3号)

総額 6億6千9867千円増

57億9千272万7千円
農業用資材等価格高騰対策事業補助金、貝野瀬桐久保地区排水計画測量費、赤城北ろく石綿管布設替工事に伴う舗装復旧工事費、火の見櫓及び防火水槽撤去工事費、子ども映画教室の費用

令和4年度昭和村国民健康保険特別会計補正予算(第1号)

総額 16万5千円増額

12億5千515万9千円
未就学児の保険料均等割額減額に伴うシステム改修委託料

令和4年度昭和村介護保険特別会計補正予算(第1号)

総額 592万3千円増額

8億4千601万3千円
支払基金交付金の精算に伴う返還金の増

承認(専決処分)

令和4年度昭和村一般会計補正予算(第2号)

総額 6千748万8千円増額

51億2千286万円
住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金
道路橋梁災害復旧費(7月15日の大雨の災害)4千200万円
コロナワクチン接種事業

認定

令和3年度一般会計および特別会計歳入・歳出決算認定

令和3年度一般会計、国民健康保険特別会計、簡易水道事業特別会計、農業集落排水事業特別会計、介護保険特別会計、後期高齢者医療特別会計の歳入・歳出決算を認定

報告

株式会社あぐりむ昭和の経営状況報告(P7参照)

令和3年度昭和村健全化判断比率等の報告

締結

昭和村役場新庁舎建設(電気機械設備工事)請負変更契約の締結

電話機、防犯カメラ等の追加設置
当初契約額3億9千490万円に2千901万8千円を追加し、4億2千391万8千円に増額変更

発議

農業用生産資材の高騰対策を求める意見書

原油や肥料の価格高騰が農業者の経営を圧迫しているとし、対策を求める意見書を国に提出することを決定(P6参照)

その他

和解及び損害賠償の決定
赤城原地区内の村道を走行中の車が、道路に空いていた幅80センチほどの穴で破損する事故が発生。和解を成立させ損害賠償額を決定。



役場新庁舎建設工事 9月現在

提出された議案等と賛否一覧		沢浦典子	林勝美	倉沢つかさ	阿部孝司	片柳悦夫	林祐司	林幸司	横坂末吉	永井一行	加藤生	藤井貞充
※○は賛成 ●は反対 ※議長は、採決に加わらない。												
第4回定例会（令和4年9月6日～15日）												
承認第7号	専決処分事項の承認を求めることについて 令和4年度昭和村一般会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第44号	昭和村職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第45号	和解及び損害賠償額の決定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第46号	令和4年度昭和村一般会計補正予算(第3号)について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第47号	令和4年度昭和村国民健康保険特別会計補正予算(第1号)について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第48号	令和4年度昭和村介護保険特別会計補正予算(第1号)について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第49号	昭和村役場新庁舎建設工事(電気機械設備工事)請負変更契約の締結について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認定第1号	令和3年度昭和村一般会計歳入・歳出決算認定について	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○
認定第2号	令和3年度昭和村国民健康保険特別会計歳入・歳出決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認定第3号	令和3年度昭和村簡易水道事業特別会計歳入・歳出決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認定第4号	令和3年度昭和村農業集落排水事業特別会計歳入・歳出決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認定第5号	令和3年度昭和村介護保険特別会計歳入・歳出決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認定第6号	令和3年度昭和村後期高齢者医療特別会計歳入・歳出決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
報告第4号	株式会社あぐりーむ昭和の経営状況報告について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
報告第5号	令和3年度昭和村健全化判断比率等の報告について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
発議第2号	農業用生産資材の高騰対策を求める意見書について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

みなさんからの請願・陳情

自 令和4年5月31日 至 令和4年8月24日

受理番号	受理年月日	件名	請願・陳情者	紹介議員名	付託委員会	審議結果
50	R 4. 8.22	村道 中野下22号線(約450m)の道路舗装工事のお願い(請願書)	中野区長 星野 透	片柳悦夫	文教産建	採択
51	R 4. 8.22	生産資材高騰対策にかかる緊急要請	利根沼田農業協同組合 代表理事組合長 林 康夫		文教産建	採択
52	R 4. 8.24	貝野瀬地区内の道路排水改良工事の実施を求める請願書	貝野瀬区 代表区長 横坂 和夫 滝久保区長 津久井岩章 池原区長 毒島 幸男 大堀区長 林 公男	林 幸司 林 勝美	文教産建	採択
53	R 4. 8.24	後期高齢者医療費の窓口負担2割化の凍結を求める請願書	昭和村大字川額120-5 全日本年金者組合利根支部 支部長 加藤 貴	林 幸司	総務民生	趣旨採択

農業用生産資材の高騰対策を求める意見書

新型コロナウイルス感染症の影響に加え、ロシアのウクライナ侵攻により原油価格は高値水準に達しており、原材料を海外からの輸入に依存する肥料や生産資材の価格高騰により、国内の農畜産業の生産現場は大変厳しい状況となっています。

農業においては、農業生産に欠かすことのできない動力機械・機具や農業用施設に使用する燃料をはじめ、農作物の育成に不可欠な肥料、畜産に必要な飼料等は昨年からの価格上昇に拍車がかかり、加えてコロナ禍による需要の減退で農産物価格が低迷し、再生産可能な価格を下回る環境にあり、生産者の農業経営を圧迫しています。

また、穀物相場も急上昇するなど農産物市場にも波及しており、自給率の低い日本では軒並み食料品等の値上げで国民の生活に多大な影響を及ぼしていることから、将来を見据えた食料の安全保障強化のための国内農畜産業の維持が不可欠となっています。

つきましては、将来にわたる食料の安定供給と地域農業の持続的発展に向け、生産資材等価格高騰に対する万全な対策を早期に実施するよう下記事項を強く要望します。

記

1 肥料高騰対策

肥料等の価格高騰が農業経営に及ぼす多大な影響を緩和し、若者や農業後継者が安心して生産・経営に取り組めるよう、早急な対応をお願いします。

2 飼料高騰対策

直面する配合飼料価格の高騰・高止まりを踏まえ、配合飼料価格安定制度の安定運営に向け、異常補填金の積み増しを措置すると共に運用の改善及び機動的な対策を早期に実現していただきたい。

3 国民理解醸成

需要と供給により相場が形成される農畜産物は生産コストが販売価格に反映されにくいいため、生産資材などコスト上昇分を販売価格に転嫁することに対し国民の理解、醸成を促す取り組みを講じることをお願いします。

4 地方創生臨時交付金の活用・拡充

様々な生産資材価格高騰に対する地方自治体による地域実態に応じた創意工夫ある支援が実施されるよう、地方創生臨時交付金の拡充を講じることをお願いします。

以上、地方自治法第99条の規定により、意見書を提出します。

令和4年9月15日

群馬県昭和村議会議員 藤井 貞充

衆議院議長	細田博之様	参議院議長	尾辻秀久様
内閣総理大臣	岸田文雄様	総務大臣	寺田稔様
財務大臣	鈴木俊一様	農林水産大臣	野村哲郎様
経済産業大臣	西村康稔様	内閣官房長官	松野博一様
経済再生担当大臣	山際大志郎様	経済安全保障担当大臣	高市早苗様
内閣府特命担当大臣	岡田直樹様		

全員協議会

7月・8月・9月に開催した全員協議会での協議内容は以下のとおりです。

7月25日

新庁舎建設工事

7月19日時点の進捗率

建築 66・5%

設備電気 49・5%

8月の工程について説明を受け協議する。

議会個人情報保護条例

法改正により、村議会個人情報保護条例を制定する必要が生じた旨の説明を受け協議する。

糸井宮ノ前遺跡発掘調査報告

東小学校建設により出土した埋蔵文化財の報告書がまとまり、石北文化財保護主事より説明を受ける。

デマンドバス予約システム導入

公募型プロポーザル（入札）で事業者を選定したい旨の説明を受け協議する。

地方創生臨時交付金実施計画

令和4年度計画の説明を受け協議する。

・上下水道基本料金（6ヶ月間3期分）免除

・原油価格、物価高騰による支援（給食費6ヶ月間免除）

・原油価格、農業用資材金額等の高騰による支援（農業経営体等を対象に収入に応じ給付金を給付）

8月24日

新庁舎建設工事

8月19日時点の進捗率

建築 73・5%

設備電気 54・2%

工事出来高は予定通り順調に進んでいると説明を受け協議する。

株式会社あぐりむ昭和の経営状況報告

令和3年度決算は、昨年度に引き続きコロナウイルス感染症に翻弄されたが、売上高は1千337万円増（3・7%）の3億7千432万円となり、来場者数は5千人増（1・8%）の28万1千900人となったとの説明を受け協議する。



にぎわう あぐりむ昭和

一般廃棄物処理広域化に関する基本合意(案)

一般廃棄物の広域処理の枠組みを5市町村とし、施設整備協議会を令和5年度に設置することなどの案が示され協議する。

昭和村地域公共交通会議の結果

デマンドバス関係

- ① 運行開始日 令和5年1月15日
 - ② 運賃 1乗車400円
 - ③ 運行日 毎日運行
 - ④ 運行時間 9時から17時
 - ⑤ 予約システム事業者 モネテクノロジ(株)
 - ⑥ 運行事業者 関越交通(株)
 - ⑦ 住民説明会 令和4年11月から12月予定
- 以上の内容説明を受け協議する。

9月13日 生越清水の化石林

市村界の確定により文化財指定登録場所の大部分が沼田市となり、指定解除を含め、文化財保護委員会と検討するとの説明を受けた。

農業用生産資材の高騰対策を求める意見書(案)

昭和村議会が国に対し提出する予定の意見書の内容を協議する。

役場新庁舎建設現場の視察

新庁舎内にて、福島建築設計事務所の担当者より説明を受ける。



新庁舎2階

総務民生常任委員会

村政一般、庶務、民生、保健、他の委員会に属さない事項を所管

請願書を審査 1件を趣旨採択

9月9日に総務民生常任委員会を開催し、請願を1件審査した。
その後、群馬県防災航空センターを視察した。

審査

後期高齢者医療費の窓口負担2割化の凍結を求める請願を趣旨採択

後期高齢者の医療費負担を抑え生活の不安を少しでも解消したいという趣旨は理解できるものの、75歳以上の割合は多くなり、現役負担も大きくなる。また、10月より法が施行されることなどが決定していることなど説明を受け趣旨採択としました。



現地視察

群馬県防災航空センターを視察

防災ヘリコプター「はるな」は山岳遭難や水難事故等の救助活動、林野火災等の消火活動、遠隔地からの救急搬送等の救急活動、情報収集活動、物資輸送、広

域応援が主な活動です。センター内施設見学と実機訓練を見学させてもらい隊員の皆さんの機敏な行動に感動し優れた判断力、体力、技能の持ち主のように思え頼もしい限りでした。目の前で浮き上がるヘリコプターを見て思わずワクワクし、見入ってしまいました。なるべく事故、災害等で飛び立つ回数が減ることを願っています。



救助訓練中



防災ヘリコプター「はるな」

文教産建常任委員会

教育、産業、経済、土木、建設、簡易水道、農業集落排水等に関する事項を所管

請願書を審査 3件を採択

9月12日に文教産建常任委員会を開催し、請願箇所について現地調査を行い審査した。
また、7月の豪雨被害箇所の視察をして、被害内容と工事進捗状況を確認した。

審査

村道中野下22号線(約450m)の道路舗装工事の請願を採択

中野区長からこの道路は中野畑総事業以来、未だに未舗装で、大雨のたびに路面の流失損壊を繰り返して、土砂は望郷ラインへと流れ出てしまう。また、農地にも影響があり農作業等にも支障をきたしている。排水を兼ねた舗装工事をしてほしいとの説明を受けた。審査の結果、全会一致で採択すべきものとした。



村道中野22号線

貝野瀬地区内の道路排水改良工事の実施を求める請願を採択

貝野瀬滝久保区長から、村道小坂線と新井替戸下野々井線が交差する付近では、過去3年間に民家が4度の床下浸水に見舞われ、また、その悪水が下流の畑を通過し被害を拡大している状況であり、効率のよい排水が出来る改良工事を望むと説明を受ける。審査した結果、全会一致で採択すべきものとした。



貝野瀬滝久保地区

生産資材高騰対策にかかる緊急要請について協議し採択

利根沼田農業協同組合代表理事組合長から提出された緊急要請は、農業が基幹

産業の昭和村にとって大変重要なことと捉え、慎重に審査した結果、全会一致で採択すべきものとし国へ意見書提出の措置とした。

現地視察

7月15日に発生した集中豪雨による被害箇所を視察。



- ①村道観音平18号線
- ②村道上原14号線
- ③村道中泉線



岩手県紫波町オガールプロジェクト視察研修

6月27日・28日の2日間にわたり視察研修を行いました。紫波町が進めているオガールプロジェクトとは、公民連携による紫波中央駅前都市整備事業のことです。オガールの名前の由来はフランス語で「駅」を意味する【ガール】と紫波の方言で「成長を」を意味する【おがる】を合わせた造語で、このエリアを紫波の未来を創造する出発点とする決意と紫波が持続的に成長していく願いがこもっているとのこと。



岡崎社長による講演



大崎会長による講演

このプロジェクトの中心的人物であるオガール紫波(株)岡崎社長の講演では、このプロジェクトが目指す「都市と農村の新しい結びつきの創造」を進める中で、の公民連携の方法や住みやす

い環境を作るためのポイント、事業成功のポイントなどをお話いただきました。次に、少子化による小学校の統廃合により廃校になった長岡小学校を活用するノウルプロジェクトでは吉本興行ホールディングス(株)大崎代表取締役会長の講演を聞き、いろいろ考えさせられました。

戦略がしっかりしていれば、戦術が失敗してもなんとかなる。時代の空気を吸っておく。また、自分たちの生活に自信を持っていなければダメ等々、生きた方、暮らし方をお聞きしました。

私たちの地域でも急速に少子高齢化が進んでおり、活力が衰退していると感じている人は多いのではないのでしょうか。年代や立場を問わず地域活性化に関心を持つ人が集い話し合い、行動することが公民連携の神髄ではと感じています。

視 察・調 査・トピックス

吉本興業HDと協定締結

8月10日、昭和村公民館にて堤村長と吉本興業ホールディングス(株)大崎代表取締役会長が地域活性化に関する包括連携協定を締結しました。この協定を契機に、お笑いの力で村民が笑顔で楽しく生活ができるようになること、合わせて吉本興業の皆様が村民とのふれあいの中で幸せや農業の素晴らしさを共有できることとなるよう望みます。

連携協定実施内容

- ① 昭和村内の施設において、年一回以上のお笑いライブの開催
- ② 昭和村内の小中学生を対象とした漫才ワークショップの開催
- ③ 昭和村食材を使用した特産品の開発
- ④ その他、両社が協議の上合意した事項



昭和村議会議員研修会

8月24日、利根沼田振興局小野里局長を講師に迎え、地域の課題と対策等について、また人口減少を見通した村づくりの必要性について研修しました。



利根郡町村議会議員・事務局長研修会

8月10日午後2時、片品村文化センターで行われました。3人の講師を迎え開催し、受講しました。

① 最近の選挙制度改正の動き

講師：群馬県選挙管理委員会事務局 清水 直之様

② 地方議会の制度と運営

講師：群馬県町村議会議員会事務局 河野 哲也様

③ 地域の課題と解決等について

講師：利根沼田振興局長 小野里 隆行様

「未来を展望しつつ、ポジティブに構想する」

講師：利根沼田振興局長 小野里 隆行様



村づくり協力委員と「花いっぱい運動」



7月7日、望郷ライン沿いにサルビアとマリーゴールドを植えました。終了後は、農業委員会と村有林内の下草刈りを行いました。



沢浦 典子 議員

プラごみを減らす対策は

市長 役場・道の駅等で可能であれば検討



問 ごみの分別もごみ捨ても個人の意識次第ではないでしょうか。

ごみを減らすには、なぜそれが必要なかを理解してもらい、方法や成果を伝えることが大事だと思います。対策を教えてください。

また、指定プラのごみの量は多いため、専用のゴミステーションの設置はできないでしょうか。

答 村長

集団回収は36団体に協力していただいています。その団体を中心に3R推進の啓発をし、地域ぐるみでごみを減らす活動を行ってほしい。指定プラの回収方法は広域化を視野に入れながら検討していきます。

問

行政区に入っていない人も多く情報が届かなければ、分別の仕方やごみの捨て方も知らないのではないですか。スーパーマーケットで見かける限られたものだけのゴミステーションを作ることは可能でしょうか。

答 村長

役場や道の駅等で、できるのであれば検討したい。



役職の定員を減らす又は役職を減らすことは可能か。

問

人口が減る中、役職の定数が同じでは、役を引き受けてくれる人を見つけないのは大変なことです。また、高齢化が進み、受けてもらえる人の幅が一層少なくなってきました。役職も名称を改めてまとめることはできないでしょうか。

答 村長

人口減少等も進んでいるので、今後の様々な役職の担い手不足には懸念している。時代や環境に合わせた改革も求められるので柔軟な対応を心がけていきたいと思えます。



林 勝美 議員

吉本興業との連携協定では

村長 村民が笑顔で楽しい生活が送れるようにする

問

吉本興業ホールディングスと包括連携協定を締結しました。①調印に至るまでの経緯は？

②連携協定実施内容の4項目を、今後どのように実施するのか？
③昭和村がどのような方向に進んで行くのか？またどのような昭和村になってほしいか？

答 村長

①グリーンスコレ代表の加藤将之さんが現在閉館している昭和の森山荘の運営について吉本興業に相談したのをきっかけに、大崎会長と村の現状や村づくりについて意見交換を重ねていく中で、交流が深まり連携協定の締結に至りました。

②お笑い芸人によるお笑いライブの開催、小学生を対象とした漫才ワークショップの開催、村の食材を使用した特産物の開発、その他両者が必要と思われることを行



大崎会長と若者の意見交換

います。

③吉本興業と昭和村の持っている特性を最大限に生かして、村民が笑顔で楽しく健康でいられるように、村づくりに取り組めます。

問

①端末を活用して小中学生は現在、どのような勉強をされていますか？

②2年目の現在、授業を進める上で問題点や課題は出てきていますか？
③今後どのような活用を考えていますか？

GIGAスクール構想2年目の現状と課題は

答 教育長

①インターネットを利用した調べ学習や、学習ソフトを利用して、課題に沿った意見の書き込み活動や発表、自宅でのオンライン授業にも利用しています。

②環境整備は整いましたが、教員の知識や技能は十分とは言えません。すべての子供たちに9年間を通して、計画的・系統的な指導マニュアルの作成と指導が必要と考えています。

③端末の持ち帰りの頻度を高め、有効な家庭学習の推進を図る。遠く離れた世界の人々との交流の機会を増やした活用などを考えています。前向きなトライ・アンド・エラーを行いながら情報端末を上手に利用し学習により効果のあるものとしていきます。

ふれあいグリーンパークの維持管理



倉沢つかさ 議員

総長 計画的に進め、老朽化箇所は都度検討



問

平成15年にオープンした「ふれあいグリーンパーク」は、遊具、設備の整った公園として、たくさんの方が利用しています。年数が経過し、老朽化しているベンチやテーブル、遊具の安全管理、トイレの洋式化等、今後の維持管理について伺います。

答
村長

総合運動公園の整備は、計画的に進めています。年に一度は、遊具等の保守点検を行い、安全性の低いものは補修や撤去をしています。老朽化が進んでいるものは現状を確認しながら、随時対応出来るように担当職員と相談しながら進めます。

問

平成5年に設置された昭和村村づくり協力委員会には、今までにたくさんの方々の協力をいただき、ありがとうございました。村の未来のために意見や要望をまとめ、村に提出をしています。今までに出された意見や要望は、村政にどのように活かされたのか説明をお願いします。

答
村長

村づくり委員会の皆さんには視察・研修会を通して、村民の視点から建設的な意見や要望を提出していただいています。

村政に反映できた項目としていくつか上げますと、「学校トイレの和式便座から洋式便座に交換」令和3年4月より赤ちゃん誕生祝金制度創設「路線バス・スクールバスの見直しとして、来年1月から運行予定のデマンドバス導入」など、貴重な提言を村政に活かされるように進めています。

村づくり協力委員会の認知度向上のために、広報しようわ・上毛新聞・週間利根などで取り上げて紹介しています。委員と共に村づくりをしていきたいと思えます。

村づくり協力委員から提出された意見や要望は



林 幸司 議員

「子育て負担ゼロ」の村づくりを

議長 「18歳まで医療費無料化を 実施に向けて検討」

問

出生数36人と過去最低を更新、60年前の5分の1にまで減少、村の存亡にかかわる事態だ。

東欧先進国では、大学まで無償、子育て負担を軽減して出生率を上げています。

日本では、非正規雇用など低賃金が少子化の要因であり、正社員が当たり前、「子育て負担ゼロ」の村づくりで少子化克服がどうしても必要です。

誕生祝金アップ、保育料完全無料化、18歳までの医療費無料化、給食費無料化の継続、教材費保護者負担軽減について実施を求めます。

答 村長

祝金2年目で、計49人に10万円を支給。5年毎に適正に見直したい。

10月より保育園の無料完全給食を実施。未満児第1子の保育料無料化は引き続き検討します。18歳、高校卒業までの

医療費無料化については実施する方向で検討しています。

答 教育長

交付金により10月より半年間の学校給食費無料化が実現できましたが、来年度は月額千円の支援を継続していきたい。

学級費の中の教材費保護者負担は平均年1万9千円、村全体で年950万円くらい。予算は、今後の学校統合や改修、建設、備品などに利用していきたい。

問

大量生産・消費・廃棄で、ゴミは8割焼却、リサイクル等は2割と低いのが現状、「焼却中心から3R優先」へ大きな転換が求められています。

徹底した焼却量を減らす取り組み、食品ロス半減と、生ゴミを堆肥化するよう求めます。

「国葬」に反対し弔意は強要しないで

問

銃殺は絶対に許されない暴挙ですが、国葬は、賛否両論、国民に弔意を強要することにつながります。

「国葬」に反対表明を。公共施設での弔旗掲揚は行わないこと。村民に黙祷などを強要しないよう求めます。

答 村長

謹んで哀悼の意を表します。反対表明はしません。半旗は状況を見極めて

答 教育長

賛成・反対の表明は適切ではない。教育関係については、村の対応に準じたいと考えています。

で判断。村民に強要はしません。

住民参加・協力共同による「3R」推進を

答 村長

ごみ問題は、住民と行政が一丸となって取り組まなければならない重要施策と認識しています。

3R推進の啓発につとめ、広域ゴミ施設整備協議会でも検討していきたい。焼却炉の負担が大きい生ゴミ対策は重要、コ

ンポスト補助を周知し、堆肥化施設の先進地を参考に検討してまいります。

3R(スリーアール)は環境省が推進。過剰包装やレジ袋などムダを減らす発生抑制 Reduce(リデュース)、くり返し使う再利用 Reuse(リユース)、ペットボトルの再資源化・再生利用など Recycle(リサイクル)の3つのRの総称。

村の姿勢 問う

一般質問

人口減少に歯止めを



加藤 生 議員

村長 最重要課題としたい



問

①人口減少に対する歯止めの施策は。②若い人の働く場所の確保は。③企業誘致は村だけでなく群馬県との連携はどのように進めているのか。また手応えはいかがか。④農業新規参入者への援助は具体的にどの様に支援していくのか。⑤保育園が3園あるが、これらの経営が長く続いていくためにはきめ細かい施策が必要です。現在行っている事業と今後行っていきたい事業は。⑥子どもがいて、年寄りがいて、そして、その人達がみんな生き生きと生活がしている、そんな社会の実現に向けて、村の今後の施策は。

答 村長

人口減少に歯止めを掛けることは、村づくりの最重要課題。活力ある地域社会を維持していくための施策について検討しているところです。企業誘致は、県と特別な連携はしていませんが、高速道路に面した工業団地の活用など県と情報を共有し、若い人の働く場所の確保に努めます。新規参入する農業者には、国の支援策、新規就農者育成総合対策の中に機械・施設等の導入支援や資金を助成する経営開始資金などがあります。村では農地が足りない状況であり、農業の新規参入は難しい状況です。しかし、村の基幹産業である農業を守るためには安定した持続可能な農業経営が重要であり、若者の就農相談から定着までの担い手支援に取り組んでいきたい。



増築が進む工業団地

問

昭和中学校周辺の送迎渋滞の解消について

村議会は村当局に対し、学校周辺の用地について、買収も含め駐車スペースを拡大してはどうかと提言をしました。



答

村当局の回答は、中学校に近い土地を賃貸し、駐車スペースとして整備したいとの説明があった。



その後

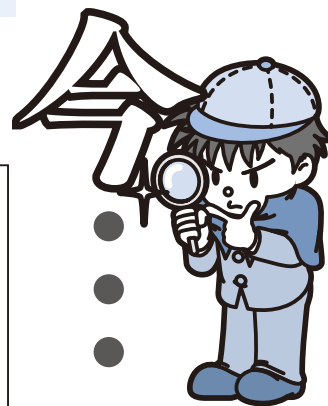
長年の懸案事項であった駐車スペースの確保は、地主及び関係者各位のご理解とご協力により、整備することができました。



追跡シリーズ 41

請願・陳情の進捗状況

あの問題は



議員が行う提言などは、村政にどう反映されているのか。皆さんからの意見要望等は、どのように処理されているのか。その後の経過を追跡します。

みんなの声

聞きたい、知りたい

議会だより創刊の思い出

第12代議長

(平成14年12月11日)

平成16年12月10日

吉野 藤彦さん



(赤谷)

平成9年度、定例議会において「より開かれた昭和村議会へ第一歩」というテーマで議会だより第1号の発刊に至りました。

当時はインター建設工事、それに伴う工業団地の造成事業、赤城西麓事業や集落排水事業等、村の将来を左右するような大事業が目白押しであり、議会(定

「昭和村に思うこと」についての声を議長経験者より届けていただきました。

数18)も活発な討論を重ねておりました。そんな中でしようわ広報以外にもなく、広く村民に議会活動を報告する機会にと、議会だよりの発行にこぎつけました。



全てが初めての事であり、新治村や月夜野町等の先進事例を視察、また県の広報課の指導を仰ぎながらやっと創刊にこぎつけました。あれから早いもので25

年もの歳月が流れ、発行回数も107号までになり、

当事者として誠に感無量であります。ここまで継続できたのも後輩議員や職員の方々の努力はもとより、多くの村民皆さんの声や投稿が、誌面を盛り上げ充実した内容になっていると思います。

新しい庁舎も完成間近となり、老人や子どもたちによさしい村、若者たちが夢を語る村づくりのため、村民一丸となって素晴らしい昭和村の誕生を期待しています。

平成の市町村合併に思う

第13代議長

(平成16年12月10日)

平成18年12月10日

澤浦 豊田さん



(鎌沢)

平成10年頃から市町村合併が議論されるようになりました。合併は何より、今



昭和村第12期村議会議員

住んでいる人たちが、より幸福になるような道を選ばなければなりません。私たちが当時の議員は数多くの市町村を視察したり、夜遅くまで何度となく議論を重ねました。

行政の方向はすべて議会の多数決で決まります。そして私たちは「自分たちのことは自分たちだけで決められる」自立の道を選びました。市街地の活性化や観光開発は、私たちは苦手ですが、昭和村の将来を考え

ることは一番得意です。

しかし国の方針の市町村合併ですから、それに逆らう道を選んだ私たちは、議員定数を4人減らし12人とし、給料も2割カットしました。結果、昭和村は残りませんでした。

その後も村民皆様の努力により、より元気な住みよい村になっていると思います。

昭和村のますますの発展を御祈念致します。

自主自立後の昭和村を 思う

第14代議長

(平成18年12月11日)

平成20年12月10日

治田 貞賢さん



(大河原)

議員になってから5年目の平成15年12月11日に市町村合併特別委員会では昭和村は自主自立を決議

しました。あの時隣村の一部の有志の皆さんから、昭和村と合併の話を出したいという申し出があり、非公式でしたが少人数で話し合いがもたれ、結果として一部地域を残して市との合併はできないという事で話し合いは終わりました。今思うと、もっと積極的に取り組



むべきであり、残念でした。自主自立を決めてから20年ほど経過しますが、村民の皆さんは今どう思っているでしょうか。以前と変わりのない活発で元気な村であると思います。今、昭和村は農業中心の村ですが、10年、20年後には人口が大きく減少していきます。若者が帰ってくるには働く場所も必要になり、企業誘致や宿泊施設等、他業種へのアプローチも重要であり、先輩議員や村の努力で開発された昭和インターチェン

コロナ禍に思う

第15代議長

(平成20年12月10日)

平成22年12月10日

金子 松二朗さん



(常木)

ジを今後大きく利用した、村づくりも必要と思います。昭和村の未来に期待します。

昭和村に生まれて早70年になる。18歳で就農し今迄、子、孫育てをしながら夢中で働いてきた。今、やっと振り返ってみる。水のない赤城の大地に水を引き基盤整備をしていただき、穀類等から野菜に変わってきた。水が来たことからトマトやほうれん草のハウス栽培もできるよ



うになって所得も大きく増えた。就農時から見ると今の目標は百倍だ。村のイベントも昭和の秋まつりを始め、スポーツイベントも数多くあつてとても楽しかった。そしてその後の懇親会ですごく盛り上がり、人と人との繋がりも一層強くなって良い親密感を増したのである。それがコロナの流行でピタッと中止になってしまい誠に残念で「時が止まっている」感じだ。好きだった旅行や山登

りも行けず今は晩酌だけが唯一の楽しみだ。コロナに加え、ロシアとウクライナの戦争の影響で物価高と資材高で大変厳しい状況下であり、村も国も色々と補助したり考えてくれてはいるが、今後も村民の声をよく聞いて、頑張つてやってほしいと思う。

『みんなの声を募集します。』

地域でがんばる人

こんにやく芋農家に嫁いで

石井メイドオリジナル 石井 萌さん



(上内出)

こんにやく芋農家へ嫁ぎ、こんにやくを加工する事業を主人と二人で始め、今年で4年目に入りました。こんにやく芋農家として「自分たちで育てた芋を一番美味しい形でお客様にお届けする」をモットーに生芋こんにやく作りをしています。私は加工部での仕事なので畑に行くことは殆どありませんが、直接お客様の声が聞ける場所なので、とてもやりがいを感じています。

こんにやくを予定しており、3人の子供たちも楽しみにしてくれています。商品を通してこんにやく芋を作っている農家さんがいることや、昭和村という場所を知ってもらえるようにこれからも頑張りたいです。

最近では定期便で毎月購入してくださる方や「こんにやくを買うなら石井さんちのがいい」と言ってくれる方、こんにやくの植え付け体験に来てくれる方もいます。

10月にはこんにやくで、できた体に優しいグミ『YUM PICK』の販売



編集室から

コロナの影響でたくさんの方の行事が無くなりさみしい日々が続いています。

しかし昭和村の皆さんは楽しいことを自分で考え、自分の見つけた楽しいことに向かっていけると思っています。『コロナに負けるな』の気持ちが一番です。

今回の議会だよりは私たち16期生が作る最後の広報です。何も知らないところから始まり、4年たちました。ゆっくりと目を通していただければ幸いです。

沢浦 典子 記



議会広報編集特別委員会

- | | |
|------|-------|
| 委員長 | 阿部 孝司 |
| 副委員長 | 沢浦 典子 |
| 委員 | 片柳 悦夫 |
| | 林 勝美 |
| | 倉沢つかさ |
| | 加藤 生 |
| | 藤井 貞充 |

